

<研究ノート>

## ドイツ語における *werden*-Passiv の時間性

— 手紙を資料として —

Temporal Reference in German Passiv Sentences

— In the Personal Letters —

板山 眞由美\*

Mayumi Itayama

現代ドイツ語における受動文は、助動詞 *werden* と動詞の過去分詞から構成される。筆者は、当該文の時間関係は、過去分詞として用いられる動詞の動作態と、主語の人称やその数、さらには他の文要素がつくりなす文内脈絡や、前後の脈絡との連関によってその都度解釈されると考える。本稿では、新たに得た資料について若干の整理を試みる。

キーワード：動詞の動作態、完了的、非完了的、時間指示

### I. はじめに

筆者は *werden*+動詞の不定形がつくる構文の意味用法を研究する過程で、*werden* が同様に助動詞として用いられ、動詞の定形ではなく、過去分詞と結びついて構成する受動文に注目するようになった。受動文は文法化された形式とはいえ、*werden* が持つ完了的・起動的意味が、他の文要素や文脈との関わりの中で、時には保持され、また場合によっては背景に押しやられるなど、そこにはさまざまな関係が指摘できる。文の時間関係という観点から特に重要なのは、動詞の動作態 *Aktionsart* である。また他の文要素、特に主語の人称や数、副詞規定や前後の脈絡などが総合的にその解釈に関与していると考えられる。

本稿で取り上げる資料は、第二次世界大戦中、出征した息子へ書き送った一人の母親の手紙を集めた *Kriegsbriefe aus Duisburg* (Werner Greve 編. Zeitgut Verlag Berlin, 2005) から得た。Duisburg は筆者が在外研修で1997年9月から1998年3月まで滞在して以来、何度となく訪れている町である。町の中心部にある書籍店で偶然見つけた175ページのこの本に収められた手紙には、息子の健康や食糧事情を心配し、次の休暇がいつ許可されるか、いつ息子に会えるかと再会を待ち続ける母親の気持ちや、毎日のように繰り返される空襲への不安、限られた物資で何とかやりくり

---

\*流通科学大学商学部、〒651-2188 神戸市西区学園西町3-1

している生活の様子が綴られている。文体は基本的に書きことばではあるが、息子に語りかけるようなスタイルには、話しことばに通じる点が多く見られる。受動文の用例は合計 168 例認められた。ちなみに本動詞 *werden* と *werden*+不定詞構文を含む文は合わせて 136 例であった。本稿では話法の助動詞など、他の助動詞と共に起した用例、過去形、現在完了形、接続法の用例は除外した。

## II. 分類

### 1. 後時的用法

過去分詞として現れる動詞の動作態は基本的に完了・起動的 *perfektiv* である。事柄はまだ起こっていない。即ち未然の事柄として後時的に解釈される。(用例に続く括弧内の数字はページを示す。斜体は筆者による。)

- 1) Etwa 600 Jungens von hier *werden* unter Fanfarenklängen 8 Uhr 40 zur Bahn *gebracht*. (46)
- 2) Eben *wird* Herr Mantell *zurückgerufen*. (68)
- 3) Wahrscheinlich *wird* der große Keller nach vorne *zugemauert*. (78)
- 4) Die Abteilung *wird* also jetzt nach Deutschland irgendwo an die Ostsee *verlegt* und neu *aufgefüllt*. (81)
- 5) Die Abteilung von Vati *wird* sehr *zusammengelegt*, da keine Verwendung für sie besteht vorläufig. (87)

### 2. 同時的用法

過去分詞として現れる動詞の動作態は基本的に非完了・非起動的 *imperfektiv* である。事柄は既に起こっていて、起こりつつある、即ち継続した状態であると解釈される。

- 6) Wie schön, daß Ihr so gut *verpflegt werdet* und in der Kantine solche Herrlichkeiten dazukaufen könnt. (12)
- 7) Es *wird* fieberhaft *gearbeitet*. (43)
- 8) Herr Volkmann (Dirigent) gibt seine Konzerte im Theater, das notdürftig *repariert wird*. (45)
- 9) Ihnen *wird erzählt*, daß sie da bestimmt nicht zur Kirche könnten. (49)
- 10) Dafür *wird* der Mann eben *bezahlt*. (121)

### 3. 反復的な用例

過去分詞として現れる動詞の動作態は完了的、非完了的を問わない。他の文要素や文脈が与える状況から、事柄が反復的に起こっているとして同時的に解釈される。

- 11) Der ganze Schutt *wird* in der Lerchenstraße *aufgestapelt*. (43)
- 12) In allen Häusern und Etagen *werden* Zimmer *beschlagnahmt*. (60)

- 13) Unser Abendessen haben wir auf halb sieben vorverlegt, da wir sonst jeden Abend dabei *gestört werden* und erst gegen neun vollenden können (durch Alarm). (60)
- 14) Der sitzt noch drin, *wird* dauernd *geröntgt*. (66)
- 15) Hier *werden* die Jungens mit den Luftwaffenhelfern oder mit anderen Schulen gemeinsam *unterrichtet*. (94)

#### 4. 二重用法

助動詞 *werden* が二重に用いられている用例である。話法の助動詞との共起が 20 例認められたのに対して、*werden* の接続法 II 式 *würde* との重複例を除くと以下の 2 例のみであった。予告や推量、即ちまだ生起していない事柄を表すものとして、後時的に解釈される。

- 16) Die ganze Ecke von der Lerchenstraße bis Manteuffelstraße und sicher fünf Häuser der Lerchenstraße *werden ganz abgerissen werden*, auch das erste Haus Manteuffelstraße. (42)
- 17) Ja, nun *wird* Eure rüstige Mutter wohl auch *eingezogen werden*, [...] (67)

### Ⅲ. 今後の整理・分析に向けて

時制との関連では、本稿で除外した過去形の用例が未整理である。また他の助動詞、特に話法の助動詞 Modalverben と共起している用例を整理し、*werden* が単独で用いられている用例と、時間関係という観点から比較する必要がある。話法との関連では、間接話法の中で用いられた接続法の用例がいくつか認められた。これらの用例を整理し、分析することによって、一定の条件からどのようにして時間指示の解釈が導き出されるかについて、詳細に検証を進めたいと考えている。今後は話しことばに見られる用法にも焦点を当てていきたい。

#### 参考文献

- 板山眞由美 (2006) : 現代ドイツ語における *werden*-Passiv について [阪神ドイツ語学研究会『会誌』18号、88-94頁]
- 板山眞由美 (2007) : *werden*-Passiv と時間指示 [阪神ドイツ語学研究会『会誌』19号、45-50頁]
- 板山眞由美 (2008) : *werden*-Passiv と時間指示 —新聞記事を資料として— [阪神ドイツ語学研究会『会誌』20号、40-55頁]